

すばる新聞

第30号
発行
市川昂高校
市川市東国分
1-1-1
047-371-2841

もっと時間がほしかった!

アジアの留学生と交流会, 1年生

吹奏楽部演奏を披露

来日数ヶ月ながら、
流暢な日本語で、夢を語る留学生に

新学期がスタートして2週目の1月17日(木)に池袋にある「メロス言語学院」の留学生38名が来校し、1年生全員と交流会を実施した。中国・韓国を中心に、台湾・タイ・マレーシア・インドネシア・ネパール・インド・ウズベキスタン9ヶ国の留学生が1クラス、4グループの生徒の輪の中に入って、3つのテーマごとにグループを移動して、語り合った。テーマのひとつ



輪を作り膝をつき合わせて

「将来の夢」では留学生の将来の夢を聞きつつ、生徒たちも日頃話すことの少ないクラスメイトとも、自分自身の夢を語るなど生徒同



留学生を前に小体育館で

国語の選択授業に参加し、来年度この授業を選択する2年生連との放課後交流会を開いた。その時見学した吹奏楽部の演奏に感激した留学生から要望で実現。

士のコミュニケーションの良い機会にもなった。その後吹奏楽部が小体育館で動きを交えた演奏を留学生の前で披露した。昨年11月には3年生の中国語・韓

弁論大会で準優勝

力強く励ましてあげられる人間に成長したい
1月25日国際教育研究部会主催の第16回英語・日本語弁論大会が千葉市民会館で開催された。本校2年8組河野爽さんが日本語第三部門で準優勝を獲得した。「練習の成果を發揮して、堂々とした発

開かれた学校づくり委員会

頂いた数多くの貴重な提言を、
今後の学校運営に役立てていきます

留学生との交流会の同日、第3回「開かれた学校づくり」委員会が午後2時から本校心接室にて開催された。内容としては、佐々木委員長あいさつの後、総合的な学習(異文化交流・留学生との交流会)を参観、学校評

価、意見交換(生徒会の生徒も交えて)をして頂いた。
『今日の国際交流は、お互いの息づかいがわかるくらいの関係でさつくばらんに話し合っすごく成功だと思っ。』
『一番うれしかったのは、生徒会の皆さんが



委員を前に意見を述べる生徒会役員

昂高校を選んで良かった。楽しい毎日を送っていると言うこと』などの意見を頂いた。最後に吹奏楽部の演奏鑑賞で終了した。

経験を基に「世界の片隅で自分の未来に希望がないと下を向いている子供達に。大丈夫だよ」と力強く励ましてあげられる人間に成長したいと思っている。貧困で苦しんでいる人達の国に行き全力で支援活動をしたい。そのため努力を重ねたい。」と爽さんは語った。

カナダの女子高生がホームステイ

外務省主催の「キズナ強化プロジェクト」で来日したカナダ・ケベック州モントリオール市にあるトラファルガー女子学校の高校生23名が、市川ユネスコ協会の協力で1月12〜14日近隣の高校生宅にホームステイした。

本校から2家族の協力を得て、カミール・ジエーン・コックアトソンさん、ミカエラ・フィールトさんの2名がそれぞれ1年5組戸澤美桜さんと2年5組大城悠実さんの家族とともに過ごした。『自分の娘が一人増えるような気持ちでカム(カミール)を心待ちにしていた。プリクラを撮り、原宿や渋谷の人の多さと所狭しと並び洋服やアクセサリーに目を奪われたよ

うだ。日本の冬の日常生活を味わってもらえた。』
(戸澤さんの母親より)
戸澤さん親子とカムさん



『自分の英語がどれだけ伝わるか不安だったが、共通の話題が大きな助けになった。カナダのことや生活習慣の違いを互いに認識することができた。カナダに遊びに来てと言われてとても嬉しかったので、これからも交流を続けたい。』(大城さんより)



大城さんとミカエラさん